

ちいき うた し
地域の唄を知ろう！

かわみなみ こうた
川南小唄

1953 年作成

【歌詞】

うみはよあけよ 尾鈴は晴れの 峰に一刷毛 薄化粧姿

牛も仔馬も夢から覚めて 裾の三里は 裾の三里は 春霞

※マコツイイムジャホントジャノ マコツイイムジャホントジャノ

音に聞こえた 白髭さまは 牛馬繁盛の守りの神よ

枚に緑の若草萌えて おこる畜産 おこる畜産 頼もしや ※

響く船歌 沖にはカモメ 港通浜 鱒釣り夜釣り

度胸一つで押し切る胸に 今日も大漁の 今日も大漁の 雲がわく

わしが川南 自慢じゃないが 心ひとつに手を取りあって

日毎伸びゆく希望を胸に 結ぶ文化の 結ぶ文化の 花も咲く

一刷毛…一度刷毛で塗ること。また、その跡。雲、かすみなどにも例える。

三里…距離の単位のこと。一里が約4 kmなので、およそ 12 km

春霞…春の季節に立つかすみで、冬から春になると、遠くの景色が見えにくくなること。

音に聞こえた…名前が人々に知られていること、有名な。

白髭さま…白髭神社のこと。白髭神社画像→

